

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成 17 年 2 月 24 日 (2005.2.24)

【公開番号】特開 2002-192776 (P2002-192776A)
【公開日】平成 14 年 7 月 10 日 (2002.7.10)
【出願番号】特願 2000-397984 (P2000-397984)
【国際特許分類第 7 版】
B 4 1 J 11/02
【F I】
B 4 1 J 11/02

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 3 月 16 日 (2004.3.16)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

シートに画像を記録する記録ワイヤを有する記録ヘッドに対向して配置された記録装置のプラテンにおいて、
上記プラテンが、上記シートの搬送方向に移動可能なベルトにて構成され、このベルトの張り側部分の裏面には、上記ベルトを境に上記記録ヘッドと反対位置に設置され、付勢ばねにより付勢された受け部材が密着し、上記ベルトが、この受け部材と共に上記記録ワイヤの打撃力を支持する構成を備えたことを特徴とする記録装置のプラテン。

【請求項 2】
上記プラテンは、記録ヘッドの両側相当位置に配置された一对の駆動ローラに巻き掛けられて移動可能に構成されたことを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置のプラテン。

【請求項 3】
プラテンに沿って走行するキャリッジに搭載されて、上記プラテンに対向して配置された記録ヘッドの記録ワイヤが、上記プラテンとの間に搬送されたシートに画像を記録する記録装置において、
上記プラテンが、上記シートの搬送方向に移動可能なベルトにて構成され、このベルトの張り側部分の裏面には、上記ベルトを境に上記記録ヘッドと反対位置に設置され、付勢ばねにより付勢された受け部材が密着し、上記ベルトが、この受け部材と共に上記記録ワイヤの打撃力を支持する構成を備えたことを特徴とする記録装置。

【請求項 4】
上記プラテンは、記録ヘッドの両側相当位置に配置された一对の駆動ローラに巻き掛けられて移動可能に構成されたことを特徴とする請求項 3 に記載の記録装置。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0012】
【課題を解決するための手段】

請求項 1 に記載の発明は、シートに画像を記録する記録ワイヤを有する記録ヘッドに対向して配置された記録装置のプラテンにおいて、上記プラテンが、上記シートの搬送方向に

移動可能なベルトにて構成され、このベルトの張り側部分の裏面には、上記ベルトを境に上記記録ヘッドと反対位置に設置され、付勢ばねにより付勢された受け部材が密着し、上記ベルトが、この受け部材と共に上記記録ワイヤの打撃力を支持する構成を備えたことを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、上記プラテンは、記録ヘッドの両側相当位置に配置された一対の駆動ローラに巻き掛けられて移動可能に構成されたことを特徴とするものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

請求項 3 に記載の発明は、プラテンに沿って走行するキャリッジに搭載されて、上記プラテンに対向して配置された記録ヘッドの記録ワイヤが、上記プラテンとの間に搬送されたシートに画像を記録する記録装置において、上記プラテンが、上記シートの搬送方向に移動可能なベルトにて構成され、このベルトの張り側部分の裏面には、上記ベルトを境に上記記録ヘッドと反対位置に設置され、付勢ばねにより付勢された受け部材が密着し、上記ベルトが、この受け部材と共に上記記録ワイヤの打撃力を支持する構成を備えたことを特徴とするものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 3 に記載の発明において、上記プラテンは、記録ヘッドの両側相当位置に配置された一対の駆動ローラに巻き掛けられて移動可能に構成されたことを特徴とするものである。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明には、次の作用がある。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

【発明の効果】

本発明では、シートの搬送性及びプラテンギャップの安定性を共に向上させて、良好な記録品質を実現することができる。